

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	視神経炎で発症した視神経脊髄炎スペクトラム障害(NMOSD)と抗 MOG 抗体関連疾患(MOGAD)の発症早期診断予測に向けた臨床研究
研究責任者	齊藤 喬
研究実施体制	脳神経内科所属の医師
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2027年 3月
対象者	2014年1月から2025年3月までの間に当院でNMOSDおよびMOGADと診断された患者さん
研究の意義・目的	視神経脊髄炎スペクトラム障害(NMOSD)および抗MOG抗体関連疾患(MOGAD)は、いずれも中枢神経炎症に加えて多くの症例で視神経炎を来し、急速進行性に視力低下や失明に至る恐れのある代表的な中枢神経脱髄疾患です。診断には血清あるいは髄液の抗アクアポリン4抗体あるいは抗MOG抗体検査がなされますが、本邦では外部検査機関への委託検査であり検査実施自体が高額であるほか、結果判明までに時間を要すなど、迅速な治療介入への障壁が山積しています。そこで、病歴や身体診察所見、比較的アクセスが容易な検査など、迅速に診断に寄与できる因子の探索が望まれます。本研究では当院での過去の診療録を用いて患者のデータを抽出し、診療情報に基づいたそれぞれの疾患の関連因子を特定することを目的とします。
研究の方法	2014年1月から2025年3月までの間に当院でNMOSDおよびMOGADと診断された25名の患者さんの診療録を詳細に検討し、病歴や身体診察所見、血液検査、髄液検査、眼科検査、MRI検査等から、統計学的手法を用いて診断に至るそれぞれの患者の特徴を後方視的に比較し詳らかにします。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳神経内科 (氏名)齊藤 喬 TEL:053-474-2222(代表) 脳卒中科外来 9:00~17:00 平日